



## 長野県立病院機構の令和6年度決算の状況がまとまりました

令和6年度決算は 15 億 7 千 7 百万円の純損失となりました

## 1 延べ患者数の状況

	令和6年度	令和5年度	比較増減 (対前年度比)	増減の主な要因
入院患者数	206,826人	202,609人	4,217人 (102.1%)	救急患者の受け入れ増加及び病棟再編による入院患者数の増加、病床稼働率向上の取組による増加
外来患者数	382,367人	388,351人	▲5,984人 (98.5%)	新型コロナウイルス感染症ワクチン接種者数及び透析患者数等の減少

## 2 損益の状況

- 経常収益は、入院収益が増加したものの、外来患者数の減少、新型コロナウイルス感染症のための病床確保料の削減により、前年度比4億6千3百万円減少し、244億8百万円となりました。
- 経常費用は、給与費の増加、物価高騰による経費の増加等による影響があったものの、超過勤務時間の縮減の取組、診療材料費等の削減に取り組んだ結果、前年度比52百万円減少し、259億8千5百万円となりました。
- 当期純損益は15億7千7百万円の純損失となりました。

(税抜、単位：百万円)

科目	令和6年度	令和5年度	増減(R6-R5)
経常収益(ア)	24,408	24,871	▲463
医業収益	17,759	17,605	153
うち入院収益	12,556	12,292	263
うち外来収益	4,580	4,678	▲99
うち公衆衛生活動収益	670	497	172
その他経常収益	6,649	7,266	▲617
うち病床確保料	0	590	▲590
経常費用(イ)	25,985	26,036	▲52
医業費用	23,985	24,027	▲43
うち給与費	13,918	13,709	209
うち材料費	4,190	4,367	▲177
うち減価償却費	2,065	2,148	▲82
うち経費	3,744	3,724	20
その他経常費用	2,000	2,009	▲9
経常損益(ア-イ)	▲1,577	▲1,165	▲412
臨時損益(ウ)	0	▲10	10
当期純損益(ア-イ+ウ)	▲1,577	▲1,176	▲401

※端数処理により、内訳と合計が一致しない箇所があります。

## 3 各病院における経営改善の取組

患者の減少や人件費・物価高騰等、医療を取り巻く極めて厳しい状況を踏まえ、各病院では設備投資を抑制するとともに、以下のとおり、診療報酬の適切な算定等による収益の確保と業務の効率化等による費用の見直し・削減に取り組んでいます。

病 院 名	主 な 取 組
信 州 医 療 セ ン タ ー	DPCⅡ以内退院率の増加、紹介率・逆紹介率の向上、診療材料費削減
こころの医療センター駒ヶ根	精神科地域包括ケア病棟入院料の算定開始、新興感染症等の感染拡大時に対応可能な専用病床を整備
阿 南 病 院	病棟・病床数の縮小による人員配置の適正化、超過勤務時間数の縮減
木 曾 病 院	訪問看護ステーションの開設及び外来の新規加算の積極的な取得による収益の確保
こ ども 病 院	病棟再編による病棟運営の効率化、診療材料費削減、超過勤務時間の縮減による費用の抑制

## 4 「機構未来プロジェクト」の取組

令和5年度決算で大幅な純損失を計上し、慢性的な赤字体質という構造的な弱みが明らかとなったことから令和6年度にも参画する「機構未来プロジェクト」を立上げ、収益増加策、経費削減策、ガバナンス・マネジメント強化等について検討を行い、機構本部・各病院の職員が一丸となって具体的な改善策の実施に取り組んでいます。今後もこれらの取組を着実に推進し、県民の皆様へ安心で質の高い医療サービスを安定的に提供してまいります。



地域の明日を医療で支える

地方独立行政法人 長野県立病院機構

長野県立病院機構本部事務局総務課・経営管理課

担当 和田・松本・宮沢

電話 026-235-7152 (直通)

FAX 026-235-7161

E-mail honbu@pref-nagano-hosp.jp